



高速道路 1000円の波紋

政府の選挙目当ての小手先の政策ともいうべき、週末高速道路1000円(ETC限定)政策は思わぬ波紋を呼んでいる。高速道路が混雑して、大渋滞を起し、あちこちのサービスエリアが大繁盛、家族サービスのお父さんはへとへと、なんてのは可愛いが、本当は深刻な事態が進行している。地方のバス会社の多くは、高速バスの収益をやりくりして路線バスを運行しているのだが、高速バスは週末1000円の影響で乗客が減少し、その上高速道路の大渋滞のため遅れが出ており、乗客離れさえおこしている。こうなると結局バス会社の収入が減って、赤字バス路線の廃止に繋がっていく可能性が出てくる。実際にそうなると最後には廃止される路線維持のために、市町村が税金を使って路線維持しなければならなくなる。またJRをはじめ鉄道にも収入減少が顕著になっている。これはバス同様に赤字ローカル線の廃止に繋がっていく可能性がある。さらにバスや鉄道を使った、旅行会社のツアー客の減少にも繋がっており、これまたバス会社・鉄道会社の収益悪化を招いている。

話は陸上ばかりではない。1000円の影響は、長距離フェリーや瀬戸内海フェリーの業界にも強烈な逆風となっており、かろうじて補助金で維持していた航路が続々廃止に追い込まれていて、失業者は6000人にもなるといわれている。

ところが次回総選挙では、政権を取る可能性のある民主党も高速道路無料を打ち出している。こうなると公共交通全般への影響ははかりしれない。地球温暖化対策のためには、全自動車も電気自動車になったとしても、さらに公共交通利用を格段に増加させなければならないのに、こうした政治家たちの政策は全く時代に逆行していると思う。

波紋の一つは、今日ここ京橋朝市から出発する、「京橋犬島アートツアー」にも出ている。来年の「瀬戸内国際芸術祭」に向けて、瀬戸内海の海上アクセスを強化し、ゆくゆく



瀬戸内海のクルーズ観光の強化に結び付けようという試みの第一号なのだが、なんと国土交通省や観光庁はこの試みに熱い視線を向けているのである。失業する6000人の再雇用先の一部にでもなればという、切実な問題の解決策になるかもしれないからだ。

風が吹けば桶屋がもうかるではないが、政府の政策というのはこれほどに庶民を翻弄するものだというところを、政治家たちにはちゃんと心に刻んでいてほしいものだ。

(岡将男)

早起きの新しい楽しみ
京橋 ART 村
あなたのアート、応援します
1ブース500円から

総社にも議員研究会が発足 ~吉備線LRT構想~

検討が続くJR吉備線のLRT(次世代型路面電車)化構想ですが、岡山市議会には議員さんによって構成する「LRT推進議員研究会」が昨年すでに発足しています。これに続き、もう一方の沿線自治体となる総社市で同じく市議さんによる研究会、総社LRT研究会が6月18日発足しました。

第一回会合には24人の市議のうち19人の参加があり、招かれたRACDAの岡会長がLRTを導入することの利点、現在の進行状況などを説明しました。

吉備線で繋がった岡山市と総社市。歩調を合わせて、地域の財産である吉備線の有効活用を探ることが期待されます。LRT化はその目玉です。

路面電車まつりスタッフ記 (安藤 亮)

この6月14日(日)に実施された「岡山路面電車まつり2009」で県外会員の私は一日スタッフをさせていただきました。お天気にも恵まれ、大変多くの方々に足を運んでいただきました。その折に印象に残った事を少し記させていただきますと思います。

それは人と人の中から生まれる「ふれあい」という幸福についてです。岡電の社員さん達が、足を運んでいただいたお客様ひとりひとりに笑顔で親切な応対で接している姿、そして嬉しそうなお客様の顔を見て、本当の豊かさをそこに感じました。



MOMO が今どうしてるか知ってる？

最近、岡山の街なかで路面電車MOMOが走る姿を見ないな...と思われませんか。その通り！実は6月1日から運行を休んで東山の車庫で点検・整備を受けているのです。岡電さんによると3年ごとに車体を分解しての大掛かりな点検があるのだそうです。

こういう時でない目にできないものがあります。それは車輪の部分(台車)。普段はMOMOの車体の下に隠れて見えません。床が低くて段差もないMOMOの秘密はここにあるんです。

写真を見てください、ほら、丸い鉄車輪の真ん中に車軸がナイ！それぞれの車輪は軸で繋がらず、独立。じゃあ、モーターからの力はどうやって伝わるの？そんなこと知らないけれど、MOMO導入時、国内のメーカーでは作ることができなかった最新技術なんです。この構造のお陰で車輪の盛りあがり座席部分に、車輪の内側は車内通路にと空間を有効に使って



研究会発足を伝える山陽新聞 倉敷・総社圏版。残念ながら、岡山市側は違う紙面になっている。



開会テープカットの直後、カメラが間に合わなかった。あゝ不器用。

私が住む大阪でもいろいろなイベントはあります。しかし全てとはいませんが、物や情報を与えてもらうことは出来ますが、人と人の「ふれあい」という部分では、満腹にならないというのが私の感想です。この度の「岡山路面電車まつり」でその気持ちを満たしてくれた理由には、このお祭りが、素人が準備する「手作りイベント」であるということがあってはならないかと思えます。手作りなので、機械的なところがなく、お見苦しい点もあったかと思えます。しかし私たちの日常生活の中は、機械化によりスマートな生活になってきた反面、人の持っている「不器用さ」が表に出る事が少なくなってきたように思えます。本当はこの「不器用さ」が一番人間にとって魅力的な部分だと思えるのは私だけでしょうか。

翌日、スタッフ疲れも含めて、満腹でした。



あのフラット(平ら)で乗りやすいMOMOが実現したのです。

分解点検が、2回目だということは、もうMOMOが岡山に来て6年になるのです。点検を終えてMOMOが街を走るようになるのは7月25日あたりです。